



# タウンミーティングを開催しました！

全6地区のコミュニティセンターにて、  
策定中の第6次総合計画のご紹介や東浦町の現況についてご説明致しました！

～開催の様子～

**タウンミーティングにも女性の参加を  
促す工夫をしたほうがいいのでは？**



7/21(土) 緒川地区

**人口減少・高齢化で東浦はどうなるの  
かデータをしっかり分析してほしい！**



7/21(土) 緒川新田地区

**自分事としてのまちづくりのやり方が  
分からない住民にきっかけほしい！**



7/22(日) 生路地区



7/22(日) 石浜地区



7/29(日) 藤江地区



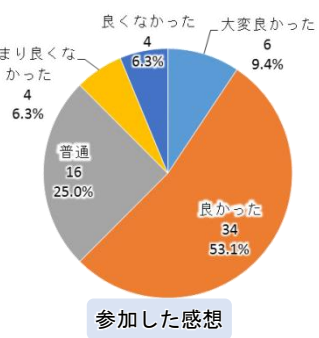
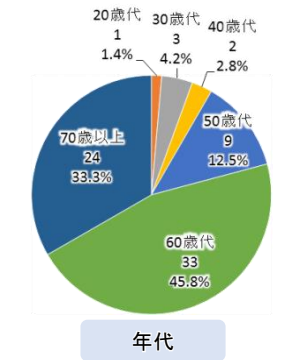
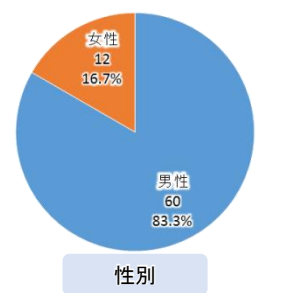
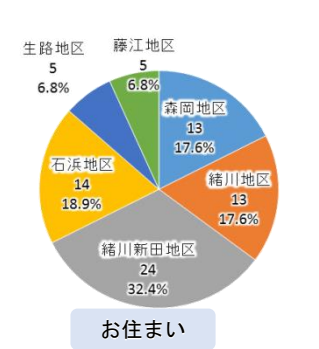
7/29(日) 森岡地区

**グローバル社会に対応できる特性を活  
かした取組が必要では！**

**地域の活動に参加しやすくなるような  
仕組みづくりを町に支援してほしい！**

**地域の一部の人への負担ではなく住民  
全員が協力できるようになるといい！**

～参加者アンケートより～



問合せ：東浦町企画政策課 0562-83-3111 内線 290  
kikaku@town.aichi-higashiura.lg.jp



# ～ 緒川地区 ～



【開催概要】日時：7月21日(土) 10:00～11:30 場所：緒川コミュニティセンター 参加者数：19名

	意見等の概要	回答
基本構想について	人口減少社会、少子高齢化という言葉に捉われすぎではないか。住民基本台帳と国勢調査の人口の差の数千人の違いにそれほど意味があるのか。正確な実態を把握し、確定値に基づいて人口構成等を分析することが重要ではないか。	実態を把握する調査として国勢調査が5年に一度ある。将来の人口の見込みについては国勢調査の確定値に基づいた推計となっている。
	町として毎年確定値を把握することはできないのか。	国勢調査の人口からその後の移動を加味した推計を愛知県が出している。
	人口減少、少子高齢化については、国や県の傾向と東浦町の実態と違いがあるのではないかと。	日本全体では人口減少が深刻である。全国的な傾向ほど急ではないが、東浦町でも子どもは減り、高齢者が増えていく。今後は少数の労働人口で高齢者を支えていかなければならない。人口の減少は避けられないため、交流人口・関係人口を増やす試みも出てきている。
	第5次総合計画の将来の都市像にある53,000人という数字は住民基本台帳ベースか。	第5次総合計画も、今回も国勢調査をベースにしている。平成27年国勢調査で減少となった。
	人口減少により前倒して計画の見直しをするということだが、人口減少に対して何をしようとしているのか。繋がっているのか。実効性が少なく思える。住民の生活改善にどのように繋がるのか。	実効性が伴うものになるよう住民主体のまちづくりをベースに計画の策定に向けて進めていきたいと考えている。
	計画の最終年度の人口フレームが無いが、2040年43,000人でいいのか。20年間にわたって施策を行っていくにあたって希望の数字を出してはどうか。人口減少を緩やかにする施策に重点的に取り組んで欲しい。	2038年に44,000人を推計人口としており、希望出生率1.8を想定している。重点を置くポイントを考えなければならないが、必ず人口が伸びる施策を示すことは難しい。現状の問題点を整理し、個別の施策を進めていきたい。
基本計画について	人口減少が話題になっているが、女性が大事にされないといけないのではないかと。なぜ女性がタウンミーティングに出ていないのか。女性が大事にされないと人口は増えない。女性議員が多いところは人口が増えていると思う。	女性の活躍は重要である。現在、東浦町の議員に占める女性の割合は全国でも上位になるほど高い。女性の枠を決める法律はない。
	「幸せと絆を実感できるまち」とは？の中に、暮らしの利便性・快適性を向上させる交通網の整理とあるが、東浦町にも買い物難民がいる。うらはは1時間に1本程度の状況の中、自転車にも乗れない、長く歩けないといえれば生活できない。後期高齢者は車の免許証の更新が厳しくなる。将来の生活に対する不安がある。高齢者の運転による交通事故のニュースもある。交通網についての計画を教えてください。	計画については、地域公共交通網形成計画がある。先日、うららのダイヤ改正に向け住民へのグループインタビューを行った。意見を集約し、利便性の向上に取り組んでいる。費用面も考慮しながら、少しでも利便性が向上するように検討している。また、歩いて暮らせるコンパクトなまちづくりについても進めている。インターネットによる買い物の利用促進など様々な面から補っていききたい。高齢者の事故については、免許証の自主返納についてうららの回数券やタクシーチケットを渡している。
その他	暮らしを守るといって、実際には住宅地に隣接して太陽光発電が設置されている。このような現状に対してどう考えているのか。	太陽光発電をどこに作っても良いとは思わないが、町に許認可権限は無い。県や経済産業省が権限を持っている。陳情もあり面談はしており事情は認識している。土地の利用権の問題もある。現状の法律では話し合いによる譲り合いしかない。付随して起こる影響については指導できることもあるので注力している。条例を作るということについても検討したが、上位法、憲法に触れるおそれがある。要綱に住民説明会や協定を結ぶことを求める内容を入れて対応している。
	交流人口は減っていると感じる。氏子を行う人、お祭りの世話人など担い手も減っている。まちづくりをしている人が幸せを感じるためにはどうしたら良いかを示して欲しい。東浦町全体のお祭りを活用し東浦町が栄えて欲しい。	すべての住民が幸せを感じなければいけない。コミュニティを中心に、担い手のすそ野を広げていく方法を考えている。負担が大きいことは認識している。町もコミュニティと一緒に考え、取り組んでいきたい。
	海外では妊娠した女性を優遇しており日本と全く違う。今後どうするかを示して欲しい。	法的な整備と個人の意識改革が必要になる。今は若い世代で女性が活躍している。女性を大切にするためには男性の長時間労働を是正する取組も必要。地域においても女性の意識啓発が必要だと思う。男女共同参画プランに基づき取組を進めている。
	総合計画にぶら下がる計画が様々なが、総合計画の見直しに伴って下位の計画も順次見直しをするのか。	都市計画マスタープランは今年度・来年度で策定する。そのほか個別の計画も計画期間を設定しており、順次見直しを実施する。農業振興計画の見直しを現在検討中である。